



世田谷区は区内および隣接に17の大学・学部があります。各大学の専門性や特色を活かし、区内の様々な課題に区や地域と協働して取り組んでいます。

今回は日本体育大学の紹介と地域と協力した取り組みをご紹介します！

スポーツを学ぶ最先端の環境を地域の皆様にも

日本体育大学の競技施設や体育館は、東京・世田谷キャンパスと横浜・健志台キャンパスを合わせて45施設あり、公開講座や体力測定、スポーツフェスタなどでも使用しています。また、大規模災害時には、区の拠点として施設を提供（協定を結んでいます）します。一般の方も利用可能な、スポーツ選手の怪我治療、予防・アドバイスを行う「クリニック」や体育・スポーツ専門書の蔵書数日本一を誇る「図書館」もぜひご活用ください。

クリニックの救急車に赤色灯が付きました！

2022年11月、日本体育大学の救急車に赤色灯が架装され、東京都公安委員会から緊急自動車の認定を受け、緊急走行が可能になりました。

この救急車は、日本体育大学クリニック（東京・世田谷キャンパス）が所有し、保健医療学部救急医療学科の教員（医師、救急救命士）が運用しています。医師または救急救命士が救急車に搭乗することにより、医療機関や消防機関と同等の救急救命処置が可能になります。また、学内における傷病者の搬送はもとより、各種スポーツ大会・イベントでの救護活動や応急処置教育などの社会貢献活動や展示・広報活動など、幅広く活用しています。

日本体育大学は、世田谷区との協定に基づき、世田谷区からの要請に応じて災害時の傷病者または感染症患者を医療機関へ搬送します。そのため、搬送の際は医師や救急救命士が搭乗し、日本体育大学の救急車が活用されることもあります。



● 救急車と電動ストレッチャー

【日体大の救急車のことを知ろう！】

- 救急車には、消防機関の救急車と同様に、救急救命処置を行うための装備（電動ストレッチャー(担架)、酸素吸入器、自動体外式除細動器、パルスオキシメーター、血圧計など）が搭載されています。
- 日体大の救急車は、日本で初めての電動ストレッチャー搭載車です。電動化により、ボタン一つで操作を行うことができ、女性や体格の小柄な救急隊員でも操作が容易になり、防災事故防止に繋がることが期待されています。



● 日本体育大学クリニック



● スポーツイベントでの救護活動

日本体育大学

体育学部、スポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部、
児童スポーツ教育学部、保健医療学部
大学院：体育学研究科、教育学研究科、保健医療学研究科
HP： <https://www.nittai.ac.jp/>

東京・世田谷キャンパス

〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1
TEL：03-5706-0900（代表） FAX：03-5706-0823

横浜・健志台キャンパス

〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1
TEL：045-963-7900（代表） FAX：045-963-7903

数字が語る日体大

1891年	創立
7,667名	学生数
578名	教員数
78	クラブ・公認団体数
45	競技施設・体育施設
17	各種実習施設
818㎡	研究施設・実験室
81,224㎡	グラウンド総面積
153個	リトルック・パルリトルックメダル獲得数
753名	リトルック・パルリトルック出場選手・派遣選手数
526,000冊	図書館蔵書数
96.3%	希望就職決定率
152名	公務員合格者数
379名	教員採用試験合格者数(卒業生を含む)



日本体育大学は創立130有余年にわたって、常にわが国の体育・スポーツの振興と保健体育・スポーツ指導者養成に主導的役割を果たすとともに、国内外の各種スポーツ大会においても多くの優秀な選手を養成・輩出してきました。社会情勢の変化に対応して学部が増え、現在は体育・スポーツ、身体に関連した分野の5学部9学科4領域2コース3研究科が設置されています。体育大学としてアジアで最も古く、世界一の規模を誇ります。“身体にまつわる文化と科学の総合大学”を目指して意義のある学びを実践し、地域社会において活躍できる人材の育成に努めています。地域の課題及びニーズを全学で共通認識し、自治体や教育機関等と連携・協力して、良好なスポーツ環境の構築、地域防災の強化・推進など課題解決にむけた各種取り組み・活動を通じて地域の活性化を継続的に推進しています。

日本体育大学公開講座

令和5年度公開講座
情報はこちら



運動指導によって健康を促進する講座や、普段できないスポーツを体験する講座など、体育・スポーツを中心とした様々な公開講座を取り揃え、教育者や研究者、学生が研究で得られた専門的な知見を公開しています。令和4年度に開催した公開講座の一部を紹介します。

「ケガの予防トレーニングと簡単テーピング講座」 令和4年7月2日開催

市民ランナーやスポーツ愛好家にとって、ケガを予防することはとても大切です。この講座では、ケガ予防に役立つトレーニングとテーピングでスポーツ活動をサポートする方法の実習を行いました。

講師：保健医療学部 准教授 上倉 将太
会場：東京・世田谷キャンパス 体操場・トレーナールーム
対象：小学生・中学生・高校生・一般 受講料：1,000円（小学生500円）

令和5年度は7月1日(土)、7月8日(土)に開催予定



体幹、股関節の可動域を広げる機能的なトレーニング



キネシオタイプのテーピングを試してみよう！

「フェンシング体験教室」 第1回 令和4年5月21日開催 第2回 令和5年1月21日開催

この講座では、騎士道の歴史やフェンシングの魅力を伝えるとともに、実際に防具を着け、剣を持って競技の楽しさを体験しました。

講師：スポーツマネジメント学部 教授 依田 充代
フェンシング部 監督（ソウル五輪代表）桐谷 乃宇奈
デロイトトーマツ所属（リオ・東京五輪代表）徳南 堅太
会場：東京・世田谷キャンパス フェンシング場
対象：小学生・中学生 受講料：1,000円

令和5年度は6回開催予定



フェンシングの歴史、ルールの説明後、基本の動きを体験



オリンピック、講師、選手による模擬試合

「たのしくて安全なキャンプ講座」 第1回 令和4年10月15日開催 第2・3回 11月19日開催

昨今のキャンプブームでたくさんの方がアウトドアを楽しんでいる反面、マナー問題や事故についても報道されています。レベルアップしてキャンプを楽しめるよう、正しい知識や基本的な技術を学びました。

講師：スポーツマネジメント学部 助教 高荷 英久
会場：横浜・健志台キャンパス 防災広場ほか
対象：小学生・中学生・高校生・一般 受講料：1,000円（小学生500円）

令和5年度は3回開催予定



薪割り、火つけ、焚き火方法、焚き火の後片付け



テント、タープの立て方、ロープワーク

「歩いて健康！元気に楽しく！日体大ウォーキング」 令和4年11月20日開催

ウォーキングは、手軽な有酸素運動ですが、間違ったフォームは、膝や腰を痛めたり、疲労の原因になりかねません。講義、準備体操、歩き方を練習した後、キャンパスの広大な敷地の中を歩きながら身体をチェックし、正しいフォームで実践しました。

講師：保健医療学部 教授 伊藤 謙 ほか
会場：横浜・健志台キャンパス 9号館実習室ほか
対象：一般 受講料：1,000円

令和5年度も開催予定



ウォーキングの効果等の講義後、靴の履き方、正しい姿勢や歩幅の確認



参加者のレベルでグループ分けをして、構内をウォーキング